

2015年7月19日(土) 晴れ
参加者：曾和、佐々木、山城(L 記)

近年の梅雨はしとしと降るのではなく、めったやたら集中豪雨となっている。前日まで雨天だったが、今日は幸いにも曇りのち晴れの予報にほっと安堵の思いでした。河原町から大原行バスで30分、バスを降りた途端になんと...雨がザアッと降り出した。あわてて軒先らしきを見つけ早々に雨具を着た。



ここは長谷出(はせだし)と呼ばれ黒谷に続く参詣道、石柱に『旧跡黒谷青龍寺 是ヨリ十五町』と刻まれている。登山道に入ると折れた結界石碑があり、さらに先に祠(べんてつ観音)がある。この黒谷道は行者道でもあって、かなりの急勾配だった。



この登山道でハプニングが。S,S氏「今日は調子悪い、汗かき過ぎやし帰る！」と言いだした。今日は3人だけやしゆっくり行こう~となだめたりしながら登る。

しかし、こんな会話の繰返しが何度かあったが、そろそろお寺まで七分目も登った頃、S,S氏「わたし後からゆっくり行くから先に行行って！」えっ?。S,S氏「あ~わからん様に自分は降りるつもりやろ~」なんと凶星だった。

S,S氏「私ひとりでも帰れるから...」(. . .彼女は歩きながら、あの手この手を考えてたんや~..) S,S氏「う~んわかった..そしたら皆んなで降りよか~」に、彼女はとうとう諦めて登ってくれた。

10:45 そんなこんなでやっと着いた青龍寺なのに何故か閉まっていた。かたわらに『青龍寺→バス停まで1700m』と記されていた。

雨はもうすっかり止んだようで私達は門前で休憩させてもらう。このお寺は法然上人が18~43歳まで修行、究学した聖地で『法然上人二十五霊場の中での特別霊場』とされる古刹です。前方に長い石段があり男性がひとり降りて来た。初めての比叡山で九州から来たという山慣れた御仁でした。私達は、冷たい果物ゼリーで小腹を満たし、目の前の石段を登り切った。



11:00 この黒谷の上部は数年前に豪雨で崩れ、道は新に切り開かれていたが壊れた瑠璃堂への経路は無く旧道はロープで塞がれて『青龍寺→』の標示のみがあった。玉体杉へ分岐の近くの車道入り口で、倒木等々の除去をしている若いお坊さんがいた。車には『知恩院総本山』と書かれているので伺ったら青龍寺の方でした。ドライブウエイを挟んでの『比叡八景』は春夏秋冬いつ来ても魅せられる風景です。横高山へは木の根坂を登りきった所が山頂で、心地よい緑の空間が広がります。

12:45 続いての水井山の山頂では遅い昼食時間を過ごします。

13:15 後は下るのみと気持ちも軽しい、山中ではず~っと木陰の中の歩きで癒されます。

14:20 仰木峠からは東海自然歩道を辿って大原『野村の別れ』へ下山する。下って行く程に倒木やゴロコがあり荒れた状態だった。ついに前方は土砂で道が塞がって、その先の下山道は沢となって水が勢い良く流れ落ちていた。思案したが仰木峠迄戻る事にした。下った道をえっちら、おっちらと登り返しは長かった。「昔カクテルでこんな事も何度かあったなあ~」とS,S氏..思い出が幾つも共通なのがうれしい。



14:45 ボーイスカウト道から下山した。しかし沢から先の道には山腹からの吹

き出す水も多く、農道をザーザー洗い流していた。

15:30 戸寺バス停、向かいの店にてしそジュースで寛ぎ、水ホースを借用して泥靴を洗い 16:00 のバスに乗車。出町柳にて反省会をして京阪京橋、淀屋橋と、それぞれ帰途につきました。

お疲れさまでした。